

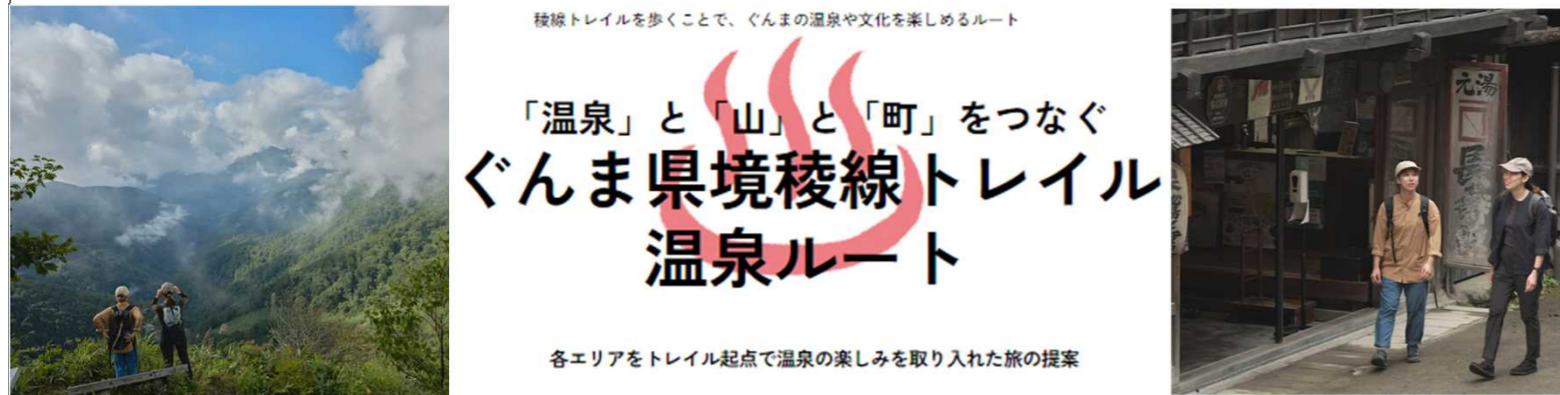
ぐんま県境稜線トレイルと群馬県特有の温泉地を組み合わせた新スポーツツーリズムの造成

現状・課題

- ぐんま県境稜線トレイルは群馬県と新潟県・長野県の県境に位置し100kmに渡ってつながる、国内最長の稜線ロングトレイル。周囲には日本百名山、二百名山に数えられる山々があり、トレイルと周辺の登山道を組み合わせることで、初心者から上級者まで幅広い年齢・レベルで山歩きを楽しめる。また、首都圏からのアクセスも良く、麓には群馬県を代表する温泉地があり、観光的なポテンシャルも高いコースである
- 一方で、まだまだ認知度は低く、100kmというロングコースゆえに難易度が高く映っていることで利用者は少ない。また、コース上にキャッシュポイントが少なく地域の収益増に貢献できていない

検証内容

ぐんま県境稜線トレイルの「雄大な景観」・「県境稜線100kmをつなぐ広範囲トレイルコース」という魅力はそのままに、より広い裾野のハイカー層～健康志向の観光客層を誘客するためトレイルコースと麓をつなぐ“新しい魅力づくり”に取り組む。



①ハイカーに優しい宿(仮)認定事業

→ トレイル周遊と温泉地への導線整備+登山層の受け入れ拠点明確化

②温泉周遊型コンテンツによる「歩く」文化創出とトレイルへの関心喚起

→ 温泉観光客に「歩く」価値を提供し、体験消費と再訪を促す

③情報発信内容の整理(ブランディング)と実施

→ 「温泉×縦走」の認知拡大・魅力訴求・ブランド形成

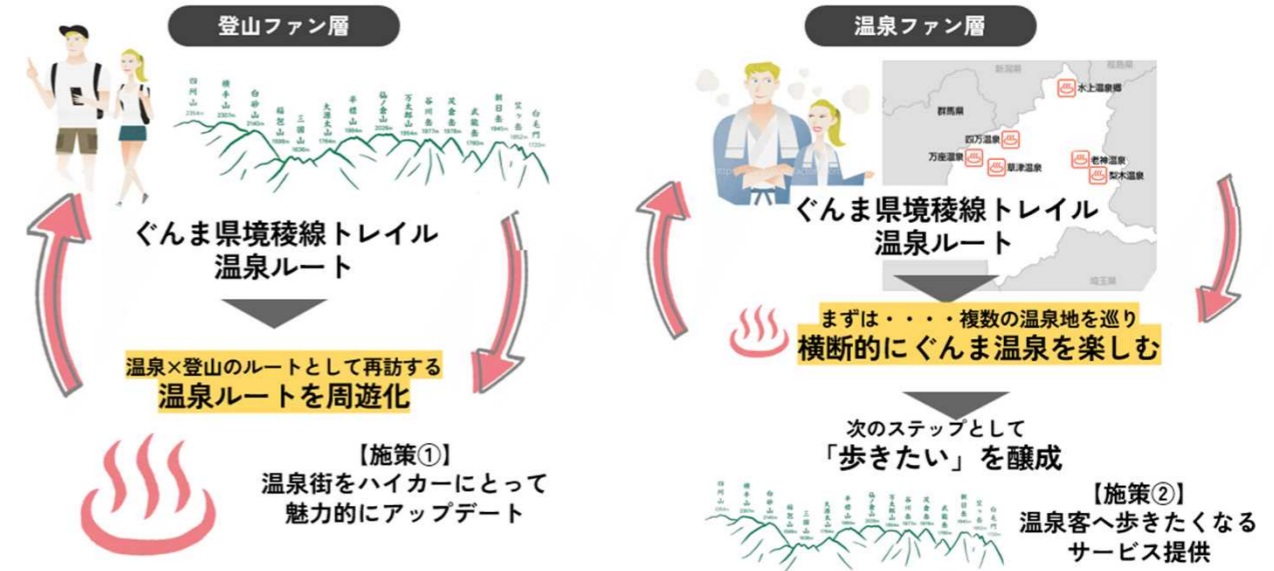
④①～③に関する効果検証と分析

→ 来年度以降の本格展開に向けて基盤データを得る

ターゲット

- 【短期ターゲット】→ 国内の登山ファン層
- 【中期ターゲット】→ 沿線自治体の温泉利用者層
- 【長期ターゲット】→ ハイカー層～健康志向の観光層・国外の登山ファン層

地域性・将来性・継続性



- 国内ロングトレイルの中でも最長を誇る稜線コースという特色と、その沿線に点在する著名な温泉資源を活かしたパッケージを作成することで、稜線と町を繋げた新しい形のツーリズムコンテンツを発信することができる
- 地域の登山ガイドやアウトドアアクティビティ提供業者と宿泊施設関係者の交流を促すことで、相互に学び合う体制づくりを行う。地域の観光資源（温泉、歴史・文化、食、登山の事等）を相互に学び合うことで、本事業終了後も地域のみで自走できるようにする

今年度KPI

(定量的目標)

KGI: 地域での経済効果・観光消費額の増加

KPI①: 新たな宿泊プラン・オプションの設計 (5件)

KPI②: 体験コンテンツ (ガイド付き・温泉連携等) の設計(5件)

KPI③: ぐんま県境トレイルの認知拡大 (年間44,311PV→8万PV)

(定性的目標)

KGI: ロングトレイルを通して、自然・文化に心身ともに癒され、楽しみながら“歩く力”を養う温泉トレイルエリアになる

KPI①: 登山・温泉ファンが「歩く」体験を通じて、地域へのリピート意向を持つ状態を創出

KPI②: トレイルと温泉の接続により、宿泊・消費を伴う導線を整備し、観光消費額の増加につなげる

KPI③: 「温泉×トレイル」という新たなブランド価値を浸透させるための土台を形成